

都市計画マスタープラン策定実習 FH43 013 / K83 1103

第3学期 木曜5,6時限, 金曜3,4,5,6時限 (3単位) 対象: 社会工学類3年生, 4年生を優先する.

担当教員:

大澤 義明: osawa@sk.tsukuba.ac.jp 佐藤 弘史: hsato@sk.tsukuba.ac.jp
 有田 智一: arita@sk.tsukuba.ac.jp 岡本 直久: okamoto@sk.tsukuba.ac.jp
 堤 盛人: tsutsumi@sk.tsukuba.ac.jp 村上 暁信: murakami@sk.tsukuba.ac.jp
 小林 隆史: tkobayas@risk.tsukuba.ac.jp 武藤 慎一 (非常勤講師: 山梨大学)

Office Hour: 随時 (事前にE-mailで連絡のこと)

資料: 基礎資料を授業時に配布するが, 関連資料・データについては独自で収集する.

授業概要: 土浦市を対象とし都市計画マスタープランをグループ作業にて策定する. 自由なアイデアを尊重しつつも, 施策実施の客観的根拠, 透明性のある理由付けを与えるために, 立地分析モデル (CUET), 交通計画モデル (JICA-Strada), 地理情報システム (GIS), 景観シミュレーション, データ解析等の手法を活用する. なお, 現地視察, 土浦市職員による特別講義, 最終発表会を土浦市内開催など現場との交流も体験する. 都市計画専攻3年間の集大成とする.

授業計画: 実習を3段階に分ける. 各段階最終日に, 2回の中間発表 (12月下旬, 1月下旬) と最終発表 (2月下旬) を行う.

I	1週 - 4週	基礎となる理論・手法等の講義, 土浦市視察, データ分析などから土浦市の現状を把握し, つくば市との関係, 茨城県南地域, 首都圏での位置づけ, さらに市民参加を含め都市計画における課題を抽出する. 中間発表会では, 目標とすべき土浦市の将来像を要約したキャッチフレーズを提示する.
II	5週 - 7週	各種分析から, 人口予測, 土地利用予測, 交通需要予測を行い, 将来課題を把握し, 盛り込むべき各種施策を提示する. 中間発表では, コーホート法による将来人口フレームを提示する.
III	8週 - 10週	提案した施策の妥当性を示すために, その効果や影響を数値化・客観化・視覚化する. 同時に, 上位計画や周辺地域での計画との整合も図る. また, 合意形成や財政面からの実行可能性を検討する. 最終発表会を土浦市内で行い, 土浦市職員, 都市計画コンサルタント, 市民の方々からコメントを頂く.

成績評価: 出席状況, 取り組み態度, 発表会でのプレゼンテーション, 最終成果物 (グループレポート, 個人レポート, パネル) から総合的に評価する. 出席状況を特に重視する.

備考: 初回の講義にオリエンテーションを行い, 4-6名でグループ編成する. グループ編成後の履修放棄は認めない. 最終発表会では, 出席者により最優秀グループを選出する.

ホームページ: レポートは<http://toshivv.sk.tsukuba.ac.jp/jisshu/jisshu3/mp/top.html>で広く公開する. また, パネルは土浦市内にて展示する.